



関中学校だより

第5号 平成29年11月20日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-kyo.ed.jp/>

助け合うDNA

校長 勝亦章行

私たち人間は、生物学的にはホモ・サピエンスと言います。進化の過程で、類人猿であるチンパンジーとも別れ、独自の進化を歩み、現在に至っています。

私たちの祖先は、遠くその歴史は、20万年前にさかのぼります。最初は、現在のように全世界に人間がいたのではなく、今のアフリカに暮らしていたと言います。

今からおよそ7万年前ごろのある日、大事件が起きました。インドネシアのスマトラ島にあるトバ火山が大爆発をしました。その噴煙は高さ2万m以上になり、成層圏にも達しました。大気中に巻き上げられた大量の火山灰が地球全体を覆い、日光が遮断されました。その結果、気温が低下(平均気温が-12℃)、「火山の冬」と言われる時代がありました。この劇的な寒冷化は、およそ6000年も続いたとのこと。

この気候変動で、多くの生物が絶滅していきました。私たちの祖先も多くが絶滅していきました。当時、人類は100万人ほどいたようですが、この気候変動で、1万人以下までになったと言います。しかし、その中で、ほんの一部の人類が生き残りました。それがホモサピエンスとネアンデルタール人でした。ネアンデルタール人は、今から2万数千年前に絶滅しています。この生き残ったホモ・サピエンスこそが、私たちの祖先です。

どうしてこの「火山の冬」と言われる厳しい環境を乗り越え、生き延びることができたのか？ それは、一つは、動物の皮などから服を作って寒さをしのいだこと。しかし、一番の理由は、少ない食べ物を、みんなで分かち合い、助け合ったこと。

やがて「火山の冬」も終わり、アフリカで暮らしていた私たちの祖先(ホモ・サピエンス)は、全世界に広がっていき、現在に至っています。今の人類は、およそ70億人とも言われています。

私たち人間は、意識する、意識しないにかかわらず、あるDNA、遺伝子をもっています。そのDNA、遺伝子とは、お互いに助け合うということ。人間は、協力する生き物であり、互いに分かち合いたいという気持ちをもっています。

あの東日本大震災でも多くの方が、ボランティアとして働きました。関中学校生徒会が熊本地震への募金を募ったとき、多くの方が協力してくれました。また、君たちも電車やバスの中で、老人や体の不自由な方に席を譲ったこともあるでしょう。こうした行為は、誰から命じてやっているのではなく、自分の意志でやっています。そして、やったあと、何かよい気持ちになります。私たちの中に、このDNA、遺伝子が組み込まれているからです。

お互いに助け合うためには、人間同士のコミュニケーションがとても大事になります。

コミュニケーションを生み出しやすい能力や体の作りをもっています。

私たちは、相手の心を読み取る力があります。

「この人は困っているのかな」「この人は寂しいのかな」「この人は悲しいのかな」と想像することができます。これは、類人猿であるチンパンジーにはない力です。

私たちの目には、真っ白な「白目」があります。白目の中に黒眼があり、その事によって、相手の視線を感じ、アイコンタクトで会話ができます。相手が何を考えているのかが分かります。

「笑顔」これができるのも人間です。笑顔をお互いにかわすことにより、好意的であるという気持ちを、相手に伝えることができます。

君たちもあの「火山の冬」を助け合って乗り越えた人達のまつえであり、子孫にあたります。

必ず君たちには、あのDNA、遺伝子が組み込まれています。「助け合うこと」「相手の気持ちを推し量る力」「ともに協力する心」です。

それを大切にすれば、もっとより良い友人関係が作られるのではないでしょう。

もし、友だちとうまくいっていない人、いないと思うが、友だちをいじめている人がいたとしたら、自分の中に必ずある、あのDNA、遺伝子のスイッチを入れて下さい。(11月6日の全校朝礼から)

11月・12月 行事予定

| 日 | 曜 | 予定 |
|-----|---|------------------------|
| 1 | 水 | 2年東京学習 |
| 2 | 木 | 1年歯みがき巡回指導 |
| 3 | 金 | 文化の日(祭日) |
| 6 | 月 | 全校朝礼、ふれあい月間、保護司会主催地域集会 |
| 7 | 火 | P T A本部会 |
| 11 | 土 | 第二土曜授業 |
| 15 | 水 | 期末考査(社会・技術家庭) |
| 16 | 木 | 期末考査(理科・保健体育・数学) |
| 17 | 金 | 期末考査(英語・国語・音楽) |
| 20 | 月 | 生徒会朝礼、職員会議 |
| 21 | 火 | 心の相談員来校、落葉清掃始 |
| 23 | 木 | 勤労感謝の日(祭日) |
| 24 | 金 | 心の相談員来校、オリパラ講演会 |
| 25 | 土 | 石神井台小開校40周年記念式典 |
| 27 | 月 | 全校朝礼 |
| 28 | 火 | 心の相談員来校 |
| 29 | 水 | P T A運営委員会 |
| 30 | 木 | S C来校 |
| 12月 | | |
| 1 | 金 | 石台小6年生来校 |
| 2 | 土 | 中P連主催「駅伝大会」 |
| 4 | 月 | 全校三者面談始 |
| 5 | 火 | 心の相談員来校 |
| 7 | 木 | S C来校 |
| 8 | 金 | 心の相談員来校 |
| 9 | 土 | 第二土曜授業、全校道徳、ボロ市 |
| 10 | 日 | ボロ市 |
| 11 | 月 | 全校三者面談終 |
| 12 | 火 | 生徒総会、心の相談員来校 |
| 13 | 水 | 避難訓練、生徒会生徒委員会 |
| 14 | 木 | S C来校、生徒会中央委員会 |
| 15 | 金 | 心の相談員来校、3年私立入試相談 |
| 18 | 月 | 生徒会朝礼 |
| 19 | 火 | 心の相談員来校 |
| 22 | 金 | 大掃除 |
| 23 | 土 | 天皇誕生日(祭日) |
| 25 | 月 | 終業式、成績相談 |
| 26 | 火 | 成績相談、生徒会長サミット |

生徒会役員選挙立会演説会（10月2日 月曜日） 投票（10月3日 火曜日 朝）

次期生徒会役員を決めるための立会演説会が、10月2日に実施されました。定員7人に対して立候補者7人と新任投票となりました。

それぞれの立候補者が、7人とも意気込みが伝わってくる素晴らしいスピーチでした。

関中学校は、投票は立会演説会当日でなく、あえて翌日の朝と定めています。大人と同じ投票行動を経験してもらうためです。投票時間は、午前7時50分～午前8時15分と短い時間の中での投票となります。投票率は、全体で82.2%でした。新生徒会役員のみなさん、関中学校のために頑張ってください。



立会演説会の様子（関中体育館にて）



翌日朝の投票の様子（関中体育館にて）

新生徒会役員

| | | | | |
|-----|----------|----|----|----|
| 会長 | 林 | 役員 | 遠山 | 永江 |
| 副会長 | 廣瀬 中山 | | 香川 | 荒井 |

連合音楽会に、ウインドアンサンブル部が参加しました（9月25日 月曜日）

今年度の連合音楽会は、9月25日と10月6日の二日間、練馬文化センター大ホールで行われました。関中学校では、ウインドアンサンブル部が参加しました。

演奏した曲は・「天満月の夜に浮かぶオイサの恋」

「Dancing 会津磐梯山」

指揮：林先生

四大大行事の一つ「合唱コンクール」（10月10日 火曜日 練馬文化センター）

関中四大大行事の一つである伝統の関中学校の合唱コンクールが、10月10日（火）練馬文化センター（大ホール）で開催されました。三連休直後の開催であったため、10月9日（月）体育の日を登校日として、前日練習を行いました。代休を10月11日（水）にとりました。各学年の発表、PTA合唱による合唱が行われました。特に3年生の合唱は、どのクラスも素晴らしい合唱でした。

特別審査員に、昨年度に引き続き、塚田 誠先生をお招きしました。保護者の方が、1年147人、2年154人、3年145人、地域来賓26人の計474人来ていただきました。ありがとうございました。

| 学年 | 課題曲 | 自由曲 | | | | |
|----|--------|---------|----------|---------|-------|-----|
| | | A組 | B組 | C組 | D組 | E組 |
| 1年 | カリブ夢の旅 | 空高く | かえられないもの | 大切なもの | 行き先 | 夜汽車 |
| 2年 | 時の旅人 | 君にとどけよう | 時を越えて | あなたに会えて | 明日に渡れ | 明日へ |
| 3年 | 大地讃頌 | 春に | 信じる | 生きている証 | 予感 | |

| | Gold 金賞 | 銀賞 |
|----|---------|----|
| 1年 | A組 | C組 |
| 2年 | E組 | C組 |
| 3年 | A組 | C組 |



金賞・銀賞トロフィー



特別審査員の塚田先生



会場は、練馬文化センター大ホール



Gold金賞の3年A組の合唱



P T A 合唱

「美女と野獣」「落葉松」
「アメイジング・グレース」「365日の紙飛行機」



合唱コンクールを成功させた実行委員の生徒たち



佐藤先生も P T A 合唱に参加しました。

避難拠点訓練（10月14日 土曜日）自助・共助の大切さを学ぶ

関中学校では、10月14日（土）に避難拠点訓練を行いました。本校の訓練の特色は、2年生全員が参加することです。関係諸機関と連携しながら、「自分の命は自分で守る（自助）・地域の力を結集して災害に立ち向かう（共助）」を学ぶことを最大の目的としています。つまり、万が一災害が起きて、関中学校が避難拠点になります。地域に住む避難民が関中学校に来たときに、関中生が避難拠点所の運営の手伝いができるようにすることです。いざとなれば、中学生はかなりの力を発揮し、地域のために尽力することができます。

今回の避難拠点訓練では、関町北四・五丁目町会、練馬区区民防災課、練馬区避難拠点要員、日本ボーイスカウト連盟練馬支部、石神井消防署関町出張所、地元消防団、P T A 本部役員、P T A サポーターの協力を得て行いました。

訓練は、仮設トイレ組立、パーナー操作、アルファ米炊飯（見学）、防災ビデオ鑑賞、備蓄倉庫内装備品説明、搬送訓練を行いました。

練馬区では、区立小学校・中学校 99 校を避難所と防災拠点機能を併せ持った「避難拠点」として位置付け、地域の区民の方（運営連絡会）と区職員・学校教職員が協働して「自分たちのまちは、自分たちで守る」体制を作っています。

関中学校は、避難所であるとともに、給水拠点の指定を受けています。また、各学校には備蓄庫があり、700 人分の避難生活に必要な物品があります。

2 年生は、自助、共助の意識が高まり、災害が発生した時は、大きな力を発揮してくれるはずで



毛布だけを使っての搬送訓練の様子



毛布と棒を使っての担架搬送訓練の様子



仮設トイレ組立訓練の様子



心肺蘇生法の訓練（40人が参加）



バーナー操作訓練の様子



アルファ米炊飯の様子 P T A に手伝ってもらいました。

1 年練馬学習（10月31日）



練馬駅でのチェックの様子

関中学校では、1年で「練馬を知る」、2年で「東京を知る」、3年で「日本を知る」という流れで学習を進めています。

そこで、1年生では「練馬学習」を班行動でのフィールドワークで10月31日実施しました。実行委員会で定めたスローガンは、「新・練馬と仲間の魅力発見」でした。

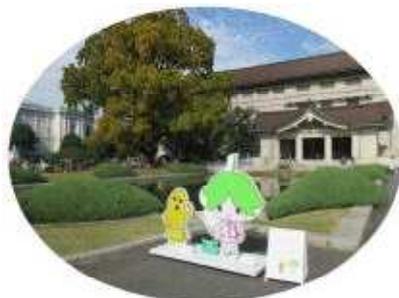
天候にも恵まれ、時間内に関中学校に戻ることができました。実行委員会を中心に様々な決まり事を決めるなどし、事前準備に多くの時間をかけました。

練馬学習の目的

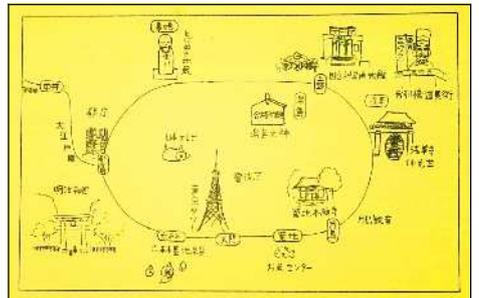
班行動を徹して、お互いに協力する姿勢、決まりを守る態度を養う。
身近な地域である練馬区内を学習し、再発見する。
自ら課題を設定し、調べてまとめる力を育成する。

主な訪問先：ふるさと文化館、愛染院、練馬大根の碑、佐田つまみ画美術館、本立寺、光が丘美術館、練馬区立美術館、ちひろ美術館、大鳥神社、長命寺、北野神社、氷川神社、三宝寺、豊玉リサイクルセンターなど

2 年東京学習（11月25日 金曜日）



東京国立博物館とその前で撮影しました。



活動エリアは、都営大江戸線内でした



浅草仲見世の生徒の様子



浅草浅草寺と雷門



1年で校外学習「練馬を知る」2年で校外学習「東京を知る」3年の修学旅行「日本（古都）を知る」という流れの中での2年生は、校外学習である東京学習を実施しました。

天候にも恵まれ、30班に分かれての班行動での学習です。自分たちでコースを決めてのフィールドワーク。東京にある様々な文化施設、名所、史跡等を直接見て、体験する活動を通して、東京の意外な発見がありました。来年度の修学旅行につながる学習となりました。安全対策上、各班には携帯電話をもってもらいました。

主な訪問先

東京タワー、スカイツリー、NHK放送博物館、国立科学博物館、下町風俗資料館
上野動物園、科学技術館、昭和館、伝統工芸館、サントリー美術館、国立西洋美術館、浅草寺、浅草仲見世、増上寺、墨田水族館、テレビ朝日、森美術館、新宿歴史博物館、都庁、新宿御苑、平和記念展示資料館、遊就館、文化学園服飾博物館など

1年歯みがき巡回指導が行われました。（11月2日 木曜日）

練馬区では2年1回、歯みがき巡回指導を行っています。

目的は

むし歯や歯周疾患の予防について理解するとともに、自分の健康状態に関心を持ち、生涯にわたり健康を保持増進できる態度や習慣を養う。

口腔の衛生状態を認識させ、むし歯予防に関心を持たせるとともに、歯肉の観察や丁寧な歯みがき方を身に付けさせる。

内容は

むし歯・歯周疾患の予防について（ハナシにならない話） 関中学校歯科医 池田先生
RDテスト（むし歯の原因菌の測定）と歯みがき実習 歯科衛生士 小林さんら5名

池田先生から受けた歯科講話は、「ハナシにならない話」でした。歯の構造、むし歯になる過程、かむことやだ液の大切さ、むし歯になりやすい人の生活例などについて、分かりやすく説明をしてもらいました。定期的に検診することが大切とのことでした。

池田先生の講話の様子



歯肉のチェックの仕方



歯磨きの正しいやり方



自分の歯肉をチェック



青少年育成関地区委員会主催
すこやか中学生ボランティア隊（視覚障がい者の介護体験）10月14日 土曜日



盲学校の柴田先生からの話を聞きました。



二人でペアになって介護体験



実際に外に出て誘導体験をしました。



コンビニでの買い物も体験しました。

青少年育成関地区委員会すこやか部会主催で、中学生ボランティア隊（視覚障がい者の介護体験）が、10月14日（土）関町リサイクルセンターで行われました。石神井西中学校、関中学校の生徒が参加。盲学校の柴田先生から話を伺ったあとに、ペアになって、一人がアイマスクを付け、一人が介助する体験を行いました。町を歩く、コンビニで買い物をするなどの実体験を行いました。

第二回 校区別協議会（11月16日 月曜日）

石神井台小学校と関町北小学校と関中学校の三校は、小中連携・一貫教育を進めています。研究主題は、「中1ギャップの解消を図るための小中一貫教育の工夫」です。

11月16日（木）に関町北小学校に三校が集い、授業観察後に分科会を実施しました。小学校の社会の授業に、関中学校の木積先生（社会科）が参加しました。

分科会は、第1分科会〔教科分科会（国語）教科分科会（算数・数学）教科分科会（外国語活動・英語）〕
第2分科会（小中の交流分科会） 第3分科会（スタンダード分科会）です。



木積先生がゲストティーチャーとして参加したのは、関町北小学校5年2組です。授業の内容は、「これからの食料生産」です。

授業の目的は、「日本の食料生産に関心を持ち、意欲的に話し合い、学習問題を考えようとする。」です。

授業45分の残り15分ぐらいでゲストティーチャーの木積先生が登場し、中学校で使う資料を小学生に手渡し、小学校との違いは何だろうかを、児童に考えさせ発表させることを中心に授業は展開されていきました。

中学校のゲストティーチャーを招いて授業を行ってもらい、小学生が中学校をより身近に児童が感じることで、中1ギャップの解消の一助になるとの考えで実施されました。（左の写真 関町北小5年2組の授業の様子）

中学生創造ものづくりフェア in TOKYO 第13回「あなたのためのおべんとう」コンクール



自分たちが作った弁当について発表



櫻～合格勝ち取って弁当～



見事準優勝をいただきました。

11月28日(土)に女子栄養大学で、第15回中学生創造ものづくりフェア in TOKYO 第13回「あなたのためのおべんとう」コンクールが行われました。関中学校から北國さん、北村さん、須田さん、小池さん、白石さん、新田さん、林さん、松元さん、篠川さんが出場し、優秀賞を受賞しました。また、林さん、松元さん、篠川さんは、東京大会で2位(準優勝)の結果を修めました。

練馬区保護司会第5分区地域集会 (11月6日 月曜日)

毎年開催されている保護司会主催の地域集会、今年は、東京保護観察所民間活動支援専門官室 民間活動支援専門官の杉本監察官の話を伺いました。講演題目は、「わが子を被害者・加害者にさせないために～犯罪や非行からわが子を守るために～」でした。

講演の概要は次の通りです。・・・杉本様は、少年院で教官も経験された方でした。少年院に来る子は、過去を背負っている子が多い。そこで、少年院は「育て直しの場」「育ち直しの場」である。そのためには、子どもから十分に話を聞くこと。子どもに社会性を身に付けること。再非行しないための教育をすること。少年院で良い思い出をつくってもらうことが大切とのことでした。

最近、若い母親で、我が子に離乳中もスマホに夢中になっていて、赤ちゃんの目を見ない母親が多いのではないのでしょうか。これは、愛着障害になる可能性がある。

親としては、少年になっても目を離さない、心を離さないことが大切です。そのためには、「子どもが話しかけてきたら、しっかり話を聞くこと」「何かあったら、どうしたらいいのか話し合うこと」「考えさせる訓練をすること」 アメリカンインディアンの子育ての四則が参考になります。

犯罪や非行からわが子を守るためには(何か悪いことに誘われて、そこから逃げるには?)

- ・逃げ方を考えておくこと。例えば、トイレに行く。用事がある。など、断る言い方を考えておくこと、何かあったときに、即座に言葉がでる。
- ・危ないところに、近づかないこと。
- ・とにかく逃げる。地域を知っていれば、裏道、細道をしっている。コンビニに逃げ込むとよい。

(文責勝亦)

保護司とは・・・法務大臣から委嘱を受けた非常勤の一般国家公務員。犯罪や非行により「保護観察」を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのったり、指導をする。
犯罪を予防するための地域活動などにも取り組んでいる。今回の地域集会もその一環です。

愛着障害・・・乳幼児期に長期にわたって虐待やネグレクト(育児放棄、放置)を受けたことにより、保護者との安定した愛着が絶たれたことで引き起こされる障害の総称。

アメリカンインディアンの子育て四則・(1)乳児はしっかり肌を離すな (3)少年は手を離せ、目を離すな
(2)乳児は肌を離せ、手を離すな (4)青年は目を離せ、心を離すな

無料通信アプリ(LINEラインなど)を介してのトラブルに注意して下さい。

スマートフォン(多機能携帯電話)などの無料通信アプリ(ラインなど)を介しての生徒間のトラブルが、社会全体でも問題になっています。

関中学校では、携帯電話やスマートフォンを学校に持ち込むことは「厳禁」です。

校外での使用により、行き違いや表現が不適切なために誤解が生じ、トラブルが発生してしまうことがあります。もちろん、悪意をもって相手を中傷誹謗する言葉を相手に送ることは、行ってはいけません。悪意をもって写真や動画などを発信することも、人権侵害になります。子どもだから許されることはありません。

何かあれば学校へ相談して下さい。また専門の相談機関もありますので、紹介します。

東京都青少年・治安対策本部青少年課「こたエール」(電話:03-3500-5181)

不審者出没 注意！ ～ すぐ110番通報をして下さい ～

これからますます、日没時間が早くなります。本校の部活動は、午後6時30分完全下校ですが、日没後の下校になります。十分に注意をして下さい。不審者に遭遇したときは、すぐに110番通報を！

不審者への対応

- (1) 不審者に遭遇した時は、大声を出したりするなどして、すぐに逃げる。そして、誰でもいいので大人に知らせ、救いを求めること。
- (2) 登下校では、できる限り集団で行動すること。できる限り、一人で登下校しない。
- (3) 歩いている時には、周囲の様子に十分に気を配ること。危険回避の力をつけること。「危ない！」と思ったら、その場から離れること。
- (4) マンション等のエレベータに乗る場合は、ボタンの近くに立ち、壁に背を向け、見知らぬ人が乗ってきたら降りること。
- (5) 何かあったときは、近隣の商店や家に知らせる。逃げ込む。そして、すぐに「110番通報」をすること。
- (6) 車に乗っている不審者に会った時には、車のナンバーを覚えておいて下さい。

関中学校 電話：03-3929-0048

体育館のバスケットボードの昇降機のワイヤーが切れました。
修理は、11月27日（月曜日）に実施します。

ワイヤーが切れたときは、体育館の中には誰もいないときでした。切れたときの様子を見た者は誰もいません。ほぼ30年ほど使っていました。原因としては、たぶん経年劣化だと考えています。

区教委に修理をお願いし、11月27日に行います。昇降機が古いため、部品の調達等に時間がかかってしまいました。生徒にも迷惑をかけていますが、学校としては、しっかり直してもらい、通常の体育館使用ができるようになってほしいと思っています。



今年は、練馬区として独立70周年

かつ、開校70周年を迎える中学校が多数あります。

練馬区は、昭和22年8月1日に、板橋区から独立しました。今年度は、独立70周年にあたります。昭和22年8月の練馬区誕生には、およそ15年にわたる独立運動の歴史がありました。国や東京都、板橋区に粘り強く働きかけ、板橋区も他に例を見ない「独立」という形で承認をした歴史があります。今は、区民72万人もの大きな区となり、また、練馬区は緑多く農地も多い区でもあります。

新制中学校として昭和22年4月に多くの中学校が開校し、当時の校名は、板橋区立〇〇中学校でした。その後、練馬区が昭和22年8月1日に独立したため、その学校は、校名を練馬区立〇〇中学校に改名しています。開校70周年を迎える中学校では、石神井中学校、石神井西中学校、石神井東中学校、大泉中学校、豊渓中学校、谷原中学校、豊玉中学校、中村中学校、開進第一中学校、開進第二中学校、開進第三中学校、練馬中学校、旭丘中学校の13校です。

我が関中学校は、平成27年10月31日に、開校40周年を迎えました。周年行事は、準備も大変ですが、地域の皆様、保護者の皆様、卒業生の皆様の支えを感じる時です。学校が様々な方から支えられていることを改めて、強く感じる機会にもなりました。今年開校70周年を迎えた学校も同じでしょう。

人権作文コンクール、税の標語の入賞者紹介

全国中学生人権作文コンクール・東京都大会

| | | |
|--------|----|--------------|
| 優秀賞 | 雨宮 | 「第一歩」 |
| 作文委員会賞 | 内藤 | 「ありのままの自分で」 |
| | 小池 | 「人権をバカにするな！」 |

税の標語コンクール（西税務署管内）

| | | |
|-----|----|--------------------|
| 優秀賞 | 吉田 | 「消費税 つながり広がる 大きな輪」 |
| 佳作 | 橋本 | 「消費税 年代広く支えてる」 |